

車いす体験

4年生は車いす体験を通して、「すべての人がくらしやすい町づくり」について考えました。

車いす体験では、ジグザク道や坂道、段差など道にあるようなしかけを用意し、実際に自分で押したり、ペアの子に補助をしてもらいながら進みました。体験をする中で、車いすに乗っている人の気持ちや押している人の気持ちを考えることが出来ました。



車いす体験や車いすを使っている先生のお話を振り返り、誰かにとってくらしやすい町は、わたしたちもくらしやすくなることに気づき、自分たちにはどんなことが出来るかを考えることが出来ました。これから、くらしやすい町について考え、私たちに出来ることから取り組んでほしいです。